

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 29 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 30 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 7 月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ウィーン大学(日本語名) University of Vienna(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語、英語/ 英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 社会文化人類学部 現地言語での名称: Social and cultural anthropology ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～1 月下旬 2 学期: 3 月上旬～7 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	87000 人
創立年	1365 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 185 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	695×10 ヶ月	円	
食費	170×10 ヶ月	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	9,99×10 ヶ月	円	
現地交通費	前期 75、vortilscard 21	円	後期は徒歩で生活していました (☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	budesmuseen card 99	円	一年間使える主要な美術館や博物館へのパスです
旅費(留学中)	4130	円	一回につき平均 7 万円前後
被服費	220	円	
医療費	50	円	
保険費	765	100,000 円	形態: 現地の保険と大学の海外旅行保険
渡航旅費		330,000 円	帰りの航空券の日時変更の手数料が 10 万円ほどかかりました
ビザ申請費	300	円	
雑費	1100	円	
その他		50,000 円	留学準備費用
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	15510 (=2,900,000 円)	480,000 円	
総計(A+B) ※円	3,390,000 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：ウィーン 経由地：なし

復路 出発地：ウィーン 目的地：成田 経由地：なし

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：オーストリア航空

料金：33 万円

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： 料金：

復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：エクスぺディア)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Oead Student housing gasgasse) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

<https://www.oeadstudenthousing.at/en/>

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋は清潔で快適でした。また最寄りの西駅からかなり近く、駅から出てすぐに寮に帰れることがとても良かったです。私は自分を含め三人のひととキッチンシェアしていたのですが、キッチンであった時は話したり一緒にご飯を作って食べたりと留学の思い出の一部になったのでとても良かったです。ただ誰と一緒にいるかは運なので、もしリスクを取りたくない人は完全プライベートの部屋でもいいかもしれません。個人的に、ずっと一人の部屋よりも他人の生活音が聞こえていた方が安心できるし英語をしゃべる機会もほしいと思っていたのでキッチン共有ルームの選択にしてとても良かったです。

夏はクーラーがないのでかなり暑かったです。冬はあったかく過ごせました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Doctorum11)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本の外務省から届くメールをチェックしていました。旅行の時はスマホを首からかけるようにしていました

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi は問題なく使えました。モバイルデータに educom という通信会社を利用していましたが、安い電話番号も付いてくるのでとても良かったです。EU 圏内であれば使用できるので旅行も良かったです

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開けました。Mariahilfer という通りにある Erste bank でスムーズに開設できました

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

サランラップ、ヒートテック、常備薬、スキンケア用品、ホッカイロ、お茶漬けふりかけ、変換プラグ

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
23 単位	☒ 単位申請中単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 他学部への授業など	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
New Critical Perspectives in social and cultural anthropology	社会人類学・文化人類学における新しい批判的視点
科目設置学部・研究科	Kultur- und Sozialanthropologie
履修期間	10 月から 1 月
単位数	5ETCS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 195 分が 1 回
担当教授	Maria Fernanda Olarte-Sierra
授業内容	文献を読んで分析したり人類学における問題点を考えたりする
試験・課題等	期末レポート
感想を自由記入	かなり難しい内容でした。期末レポートは結構時間がかかります。出席点はないのでレジュメだけ見てればいいやって思っておくとかなり後悔します。レジュメでカバーしきれない内容を講義中に結構話しているため集中して授業を聞かないといけません。2 週間に一回授業があったのですが授業時間が長くて苦しかったです

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Text and written and oral communication English		英語における文章表現・口頭表現コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Translationswissenschaft	
履修期間	10 月から 1 月	
単位数	5ETCS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数でのディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Lisa Carina Berger	
授業内容	英語でのレポートの書き方やシーン別の英語使い分け	
試験・課題等	期末テスト	
感想を自由記入	25 人の少人数のクラスで積極的に発言することが求められました。各授業内容はそれほど難しいわけではなく、先生の英語も聞き取りやすいので私でもついていくことが出来ました。グループワークなどもあるので海外で授業を受けている感を実感できます	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Music in the Ottoman Empire, the Middle East and Central Asia		オスマン帝国、中東、および中央アジアの音楽
科目設置学部・研究科	Orientalistik, Afrikawissenschaften, Südasien-, Tibet- und Buddhismusk	
履修期間	3 月から 6 月	
単位数	3ETCS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Jeanine Dayyeli, Yavuz Köse	
授業内容	各回別の大学の教授がゲストスピーカーとして登壇し講義をしていました。音楽の歴史について学びました	
試験・課題等	期末ポート	
感想を自由記入	各回ごと先生が違うので毎回の授業が新鮮で楽しかったです。風土によって音楽の歴や成り立ちが異なるのが興味深かったです	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Museum Anthropology	博物館人類学概論
科目設置学部・研究科	Kultur- und Sozialanthropologie
履修期間	3 月から 6 月
単位数	5ETCS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Melanie Janet Sindelar
授業内容	博物館の歴史や「問題点を人類学の視点から分析する
試験・課題等	期末テスト
感想を自由記入	かなり内容が難しかったです。博物館や美術館は好きなので、興味深かったです。展示物についてだけでなく、展示方法まで深ぼって考えることで人種差別問題や男女不平等などの問題につながっていくのが面白いと感じました。テストは記述式だったのでとても難しかったのですがレジュメがかなりしっかりしていて、たくさん読み込んで理解しておけば大丈夫だと思います。AI に問題を作成してもらって壁打ち練習のような感じで勉強しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History of Iran from the Safavids to the present time	サファヴィー朝から現在までのイランの歴史
科目設置学部・研究科	Orientalistik, Afrikawissenschaften, Südasiens-, Tibet- und Buddhismusk
履修期間	3 月から 6 月
単位数	5ETCS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Robert Steele
授業内容	イランの歴史
試験・課題等	期末テスト
感想を自由記入	期末テストがオンラインだったので受けてみました。レジュメは写真やイラストも多く、わかりやすかったです。かなりボリュームのある授業内容なので大変かもしれません

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

4 年の秋学期を休学し、来年の春学期に大学に通って卒業したいと考えています。そのため、27 年の夏頃卒業し、28 年の春から就職しようと考えているため、28 卒として就職活動をしています。留学中に同時並行で就職活動したいのであれば、日本にいる間に証明写真を撮っておいたり、テストセンターでテストを受けておいたり、インターンに参加したりなどの準備はしておいた方がいいかもしれません。また、スーツを日本から持って行った方がオンライン面接にも対応できると思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	TOEFL 受験
	10 月 ～ 12 月	学内選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	寮の申し込み、航空券購入、在留許可の書類準備
	8 月 ～ 9 月	在留許可申請の準備、渡航
	10 月 ～ 12 月	在留許可申請
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	前学期期末試験
	4 月 ～ 7 月	後期期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	就職活動
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

ウィーンでの留学生活は一年を通して本当に楽しかったです。大学生のうちにこんなに貴重な経験をできたことにとっても感謝しています。ウィーンはとても治安がよく、ぶっちゃけ、日本よりも治安がいいんじゃないかっていうレベルで安心して生活することができました。渡航前はドイツ語が全くわからないことに不安を感じていましたが、英語は問題なく通じ、困ることはあまりなかったです。郊外の方に行くとなんか英語が通じなかったりしますが、翻訳アプリの力となけなしのドイツ語で乗り切るのも楽しかったです。

ウィーンには美術館や博物館がたくさんあり、一年間のパスを買っていたので行きたい放題ですごく良かったです。中でも美術史美術館がお気に入りになりました。建物自体がもう美術品っていう感じの美術館なので入るだけでもすごく感動します。

そういった芸術だけでなくスイーツも本当に美味しいです。元気が出ない時はカフェで美味しいケーキやコーヒーを飲むことが私の気分転換方法だったので少し太って帰ってきてしまいましたが何も後悔はありません！笑

ウィーンはコンパクトな街なので頑張ればあるいて主要なところは一周できます。散歩が好きなので毎日平均 15000 歩くらい歩いていました。

他の国へのアクセスもいい国なので旅行に行くこともとても楽しかったです。お気に入りバルセロナ、クロアチア、ローマ、ストックホルムでした

もっと現地の雰囲気を知りたいなということで、あとお金も稼ぎたいというのがあったのでアルバイトにも挑戦しました。日本人のオーナーさんが営むホイルゲでキッチンをしていたのですが、地域の人とも関わることができて学校外でのコミュニティにいられたことが本当に楽しかったです。現在円安が加速しているし物価も高いので、お金も少し稼ぎながらそういうのを経験してみたい！という人にはアルバイトおすすめです。日本食のお店がたくさんあるので日本人のオーナーさんが結構います

アドバイスとしては毎日頑張りすぎないことです。異国の地に一人でいるということだけでもすごいんだ！というマインドを忘れずにあまり気負わずに楽しく過ごすのが一番だと思います。自分自身、インスタなどで他の留学生と自分を比べてしまうこともありましたが、自分のこの生活も人から見たらものすごく贅沢でうらやましいものだろうなと思うのが大事です

ウィーンには思ってるより日本人も多いので、留学に来たから外国人と話さないと！となる気持ちも大事ですが、たまには母国語で思いっきり話したり楽しいことをすることも大事だと思います。

外国人の友だちが欲しいのであれば友だちになれそうなチャンスを逃さないことが大事です。一人仲良くなれば、その子がいるコミュニティにも入っていけるし紹介してくれるのでお得です。外国人でも気のあうひと、合わない人は当たり前にいるので自分と気の合いそうな人と仲良くすればいいと思います。向こうから見ても私たちは外国人なので、外国人だからといって変に緊張したりせず同世代同士だと思ってラフに接するのがいいと思います